

保護者・地域の皆様

令和 4 年 4 月

小平市立花小金井小学校
校長 高橋 良友

大規模地震発生時の基本方針

平成23年3月11日、東日本大震災が発生し、「電話・携帯電話等が使えない」「停電になったら放送器具が使えない」「公共交通機関が止まる」等、様々な課題が浮きぼりになりました。また、引き渡し訓練の際には、様々なご意見や質問をいただきました。さらには、東北地方で実際に大震災を経験された方の貴重なご意見を聞くこともできました。

こうしたことを踏まえて、大規模地震発生時の対応につきまして、花小金井小学校としての基本的な対応について、保護者の皆様にお知らせいたします。

ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

記

1 引き渡し等の対応の判断について

(1) 震度5弱以上は、保護者等への「引き渡し」とします

震度5弱以上の大地震が発生した場合には、携帯電話等が使えなくなり、公共交通機関が止まるなど、大人がすぐに家に帰れないという事態が発生する可能性があります。そのため、震度5弱以上の大地震が発生した場合には、すべて、保護者等への「引き渡し」という対応にします。その場合、すぐには駆けつけられない場合も考えられますので、引き取りに来られるまで、学校でお子さんをお預かりします。

(2) 震度4以下は、基本的には通常下校とします

震度4以下では、地域等で大きな被害はほとんど起きないと考えられますので、基本的には、通常下校とします。ただし、被害等が考えられる場合には、変更することもあります。

2 「引き渡し」の手順等について

(1) 引き渡し場所は、原則として校庭とします

教室での引き渡しは、場所が数か所に及ぶため、兄弟等の複数の子どもを引き渡すのに、時間がかかる等の課題が考えられます。また、児童数の増加に伴い、体育館での引き渡しは混乱と密集が予想されます。原則として校庭での引き渡しを行います。

(2) 子供の人数が少なくなったら、図書室（校舎2F）での引き渡しとします

保護者の方々の引き取りに、かなりの時間がかかることが予想されます。しばらく時間が過ぎて、児童の数が少なくなった後は、図書室に移動し、本を読むなどして過ごし、図書室での引き渡しを行います。（3.11の時は、約1時間経過した頃、児童の人数が少なくなったので、図書室に移りました）

(3) 可能な限りの保護者等への連絡について

電話や携帯電話による緊急連絡は、原則として行いません。引き渡しに関する情報等は、スクールメールや花小ホームページでお知らせします。

3 引き渡す保護者等について

(1) 事前に、引き渡す可能性のある方の名前を把握させていただきます

保護者が引き取りに行けない場合も考えられますので、事前に、祖父母や近隣の知人の方など、考えられる方の名前を把握させていただきます。（「引き取り人カード」に、考えられるすべての方の名前をご記入ください）

(2) 引き取りの方が、急に変わる場合の対応

学校で把握している方のみに引き渡します。事前の連絡が無く、引き取りの方が変更になった場合は、引き渡しをいたしません。

4 引き渡しの際の学校までの経路等

(1) できるだけ跨線橋や道路下のトンネルは、避けた方がよいと思われます

線路より南側にお住まいの方は、念のために跨線橋やトンネルの使用はなるべく避け、踏切を渡られた方がよいと思います。ただし、電車の運行状況によっては、踏切が閉まったままということもありますので、その場合は保護者の方のご判断をお願いします。

5 地域の避難所について

(1) 大震災で被害が大きかった場合（震度5強以上）は、本校は避難所になります

花小金井小学校は小平市等から救援物資が運ばれてくる避難所にも指定されています。大災害が発生し、緊急の避難所になった場合は、基本的に体育館を避難所として使用することになります。その場合は、地域に住んでいる市役所職員の方を中心にした対策本部が設置されますので、対策本部と学校とで連携をとりながら、運営していくことになります。夜間や休日等、学校職員が不在の時に大震災が発生し、大きな被害が出て学校の体育館に避難しなければならない場合には、市役所の職員が駆けつけることになっています。避難所として使用できるかの安全点検を行うまでは、校庭で待機してください。